

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】令和5年12月14日(2023.12.14)

【公開番号】特開2023-16954(P2023-16954A)  
 【公開日】令和5年2月2日(2023.2.2)  
 【年通号数】公開公報(特許)2023-021  
 【出願番号】特願2022-195325(P2022-195325)  
 【国際特許分類】  
 A 6 3 F 7/02(2006.01)  
 【F I】  
 A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

10

【手続補正書】  
 【提出日】令和5年12月5日(2023.12.5)

【手続補正1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技球が入球可能な第1の入球手段と、  
遊技球が前記第1の入球手段に入球したことに基づいて第1の所定情報を取得する第1  
所定情報取得手段と、  
前記第1の所定情報が第1の条件を満たすか否かを判定する第1判定手段と、  
遊技球が入球可能な第2の入球手段と、  
遊技球が前記第2の入球手段に入球することが不可能又は困難な入球不可状態と、遊技  
球が前記第2の入球手段に入球することが可能又は容易な入球可能状態との間で遷移可能  
な第1状態遷移手段と、  
前記第1の所定情報が前記第1の条件を満たすと判定された場合に、前記第1状態遷移  
手段を前記入球不可状態と前記入球可能状態との間で遷移させる第1遷移モードを実行す  
る第1遷移モード実行手段と、  
遊技球が前記第2の入球手段に入球したことを含む所定の特典付与条件が成立した場合  
に、遊技者に特典を付与する特典付与モードを実行する特典付与モード実行手段と、  
を備える遊技機であって、  
前記第1遷移モード実行手段は、  
前記第1遷移モードにおいて前記第1状態遷移手段が最後に前記入球可能状態から前記  
入球不可状態に遷移してから、前記第1判定手段による次の判定を実行可能とするまでの  
期間である待機期間の長さを、  
前記第1状態遷移手段が前記入球可能状態から前記入球不可状態に遷移してから、前記  
入球不可状態から前記入球可能状態に遷移するまでの期間であるインターバル期間の長さ  
以上の長さに設定し得るように構成されている  
ことを特徴とする遊技機。

30

40

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0007  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0007】

50

[形態] (本形態は、主に、下記の第13実施形態及びその変形例に基づく)

遊技球が入球可能な第1の入球手段と、

遊技球が前記第1の入球手段に入球したことに基づいて第1の所定情報を取得する第1

所定情報取得手段と、

前記第1の所定情報が第1の条件を満たすか否かを判定する第1判定手段と、

遊技球が入球可能な第2の入球手段と、

遊技球が前記第2の入球手段に入球することが不可能又は困難な入球不可状態と、遊技

球が前記第2の入球手段に入球することが可能又は容易な入球可能状態との間で遷移可能

な第1状態遷移手段と、

前記第1の所定情報が前記第1の条件を満たすと判定された場合に、前記第1状態遷移

手段を前記入球不可状態と前記入球可能状態との間で遷移させる第1遷移モードを実行す

る第1遷移モード実行手段と、

遊技球が前記第2の入球手段に入球したことを含む所定の特典付与条件が成立した場合

に、遊技者に特典を付与する特典付与モードを実行する特典付与モード実行手段と、

を備える遊技機であって、

前記第1遷移モード実行手段は、

前記第1遷移モードにおいて前記第1状態遷移手段が最後に前記入球可能状態から前記

入球不可状態に遷移してから、前記第1判定手段による次の判定を実行可能とするまでの

期間である待機期間の長さを、

前記第1状態遷移手段が前記入球可能状態から前記入球不可状態に遷移してから、前記

入球不可状態から前記入球可能状態に遷移するまでの期間であるインターバル期間の長さ

以上の長さに設定し得るように構成されている

ことを特徴とする遊技機。

10

20

30

40

50